

渡り鳥たちのフリンギ

なぜ渡るのが、どういうルートをとどるのか

鳥たちの多くが

毎年、繁殖地と越冬地の間を

何千キロあるいは何万キロにも及ぶ

渡りをします。

こうした渡りの実態が科学技術の発展に伴い

だんだん明らかになってきました。

今回、それらの研究でわかってきた

サシバやハチクマ、カンムリウミスズメなど渡りの様子を

50年以上、鳥と渡りを見つめ研究を続けてこられた

樋口広芳さんにお話しいただきます。



樋口広芳さん

東大名誉教授 慶応大学訪問教授

専門は鳥類学、生態学。日本鳥学会元会長。著作は「鳥たちの旅—渡り鳥の衛星追跡」、「鳥の渡り生態学」、「鳥ってすごい!」など。

4月13日(日) 10時~12時

場所：流山市おおたかの森センター

千葉県流山市おおたかの森西2丁目13番地の1

参加費：300円(中学生以下無料)

※参加は小学生以上(小学3年生までは保護者同伴必須)

申込先：NPO さとやま 岡田啓治 TEL：04-7152-6856

Mail：jimukyoku@nposatoyama.com



主催：特定非営利活動法人 NPO さとやま 共催：流山市おおたかの森センター